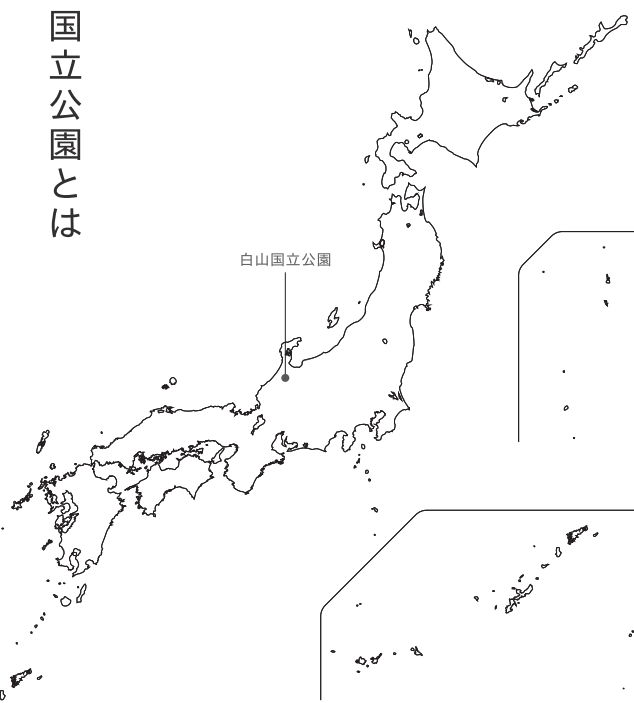


白山 国立公園

National
Parks
of Japan



国立公園とは



国立公園は、日本を代表する自然の風景地として、自然公園法に基づいて国が指定するものです。北は北海道から南は沖縄、小笠原諸島まで34の国立公園が指定されており、年間3億人以上が利用しています。国立公園内は、自然の絶景だけではなく、野生の動植物、歴史文化などの魅力の宝庫です。日本の国立公園は、森林、農地、集落など多様な環境が含まれていることが特長です。ほとんど手つかずの自然が残されているところがある一方で、自然と人の暮らしが織りなす地域の歴史や文化にふれることができます。是非、実際に国立公園を訪れ、四季折々に変化する日本の美しい自然を満喫してください。

連絡先一覧

中部地方環境事務所
〒460-0001 愛知県名古屋市中区三の丸2-5-2
| TEL | 052-955-2130 | FAX | 052-951-8889
| URL | <http://chubu.env.go.jp/>

白山自然保護官事務所
〒920-2501 石川県白山市白峰ホ25-1
| TEL | 076-259-2902 | FAX | 076-259-2085

石川県白山自然保護センター
〒920-2326 石川県白山市木滑ヌ4
| TEL | 076-255-5321 | FAX | 076-255-5323
| URL | <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/hakusan/>

白山国立公園サイト
<http://www.env.go.jp/park/hakusan/>



火山情報をご確認ください
https://www.jma.go.jp/jp/volcano/map_3.html



※登山届けの提出が義務化されています。ご注意ください

発行者：環境省
発行年：2018年

※ 見どころ案内マップは、指定区域の概要を示すために作成したものであり、誤差があることを考慮した上でご利用ください。



雪と高山植物が彩る信仰の山

白山国立公園は、最高峰の御前峰(2,702m)、大汝峰(2,684m)、剣ヶ峰(2,677m)の3峰と周囲の山々を中心とした、およそ南北40km、東西30kmにわたる公園です。標高1,600m以下の山麓にはブナを中心とした自然林が広がり、高山・亜高山帯にはハクサンフウロやクロユリなど、約250種もの高山植物が生育し、原生的な自然環境が保たれています。また、ツキノワグマ、ニホンカモシカ、イヌワシといった大型野生鳥獣の生息地でもあり、その自然性の高さからユネスコ「人間と生物圏(MAB)計画」に基づく生物圏保存地域(ユネスコエコパーク)に指定されています。冬の白山は、北西の季節風がもたらす多量の雪に覆われます。標高500m以上の山地には約6億トンの積雪があると推定され、この雪が白山の自然を形作る大きな要素の一つであり、山麓部に豊かな恵みをもたらし、雪国の独特な景観や文化を育んでいます。

【指定年月日】昭和37年11月12日
【関係都道府県】富山県、石川県、福井県、岐阜県

【面積】49,900ha



エコラインから御前峰

自然



地形・地質

主峰の御前峰を中心に、大汝峰、剣ヶ峰が山頂部を形成し、付近に散在する翠ヶ池、紺屋ヶ池、千蛇ヶ池などの火口湖や、火山碎屑物や溶岩でできた室堂平、弥陀ヶ原、南竜ヶ馬場などの平坦地とあいまって、優美な火山風景を展開しています。山体の大部分は手取層群の堆積岩や濃飛流紋岩類などの古い時代の地層や岩石でできており、その上を火山噴出物が覆い、白山火山を形成しています。

森林

白山では、山麓から標高1,600m付近にかけて広大なブナ林が広がっており、別山市ノ瀬道、平瀬道、中宮道などでは、ブナの大木が連なる原生林が見られます。標高1,600m～2,400m付近の亜高山帯には主にダケカンバやオオシラビソが、2,400m以上の高山帯にはハイマツが生育しています。



溶岩円頂丘・剣ヶ峰



白山で最も古い時代に形成された大汝峰



白山で一番大きな火口湖・翠ヶ池



新白山火山の噴火で形成された溶岩地形・弥陀ヶ原

手取層群と恐竜化石

白山周辺に分布する手取層群には、今から1億7000万年前の中世代ジュラ紀後期から1億1000万年前の白亜紀前期までの間に堆積した古い地層がみられます。この地層は白山周辺地域がまだアジア大陸の縁辺部にあった時代にできたもので、恐竜を始め、哺乳類や魚類、植物など数多くの化石が発見されています。特に、国内有数の恐竜化石の産地として、学術的にも貴重です。

文化

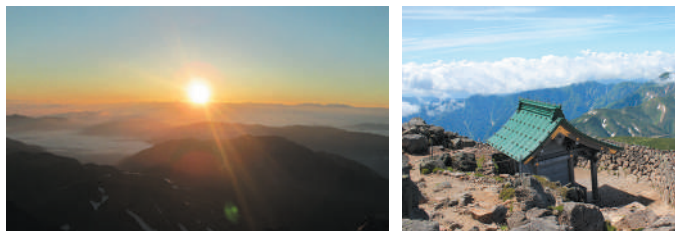


白山信仰

白山は、雪をかぶった純白の印象から、古くは「越の白嶺」とも呼ばれ、養老元年(西暦717年)に越前の僧「泰澄大師」が開山した信仰の山として、また、富士山、立山と並ぶ日本三名山の一つとして知られています。白山は周辺に高い山がなく、北陸、東海、近畿の各地方から仰ぎ見ることができたため、古来から都の人々に知られてきました。雪に覆われる冬の白山は、海からの目印ともなり、神の山として古くから崇拝されてきました。御前峰には白山比咩神社の奥宮がおかれ、全国に三千社余りもあるという白山神社の総本宮として、崇敬を集めています。

三馬場と三禅定道

白山の山頂は禅定(霊山で修行すること)の到達点であると考えられたため、修行僧が登るようになり、しだいに道が作られていきました。この道を禅定道といい、越前、加賀、美濃にあるそれぞれの道は越前禅定道、加賀禅定道、美濃禅定道と呼ばれました。天長9年(西暦832年)には、



山頂からのご来光

白山比咩神社奥宮

動植物



高山植物と動物

白山では、標高や地形、雪どけ時期などの違いから多様な環境が形成され、それぞれの環境に適した高山植物が生育しています。7～8月の夏山シーズンには一斉に咲いた高山植物の美しいお花畑を見ることが出来ます。また、白山の高山植物には、ハクサンゴザクラ、ハクサンフウロやゴゼンタチバナなど、白山あるいは主峰の御前峰にちなんだ植物が数多くあります。白山は、本格的な高山帯を有する山としては、日本で最も西にあり、ハイマツ、オオシラビソ、クロユリ、アオノツガザクラなど、100種を超える高山植物の分布の西限となっています。

主な高山植物の開花時期

	6月	7月	8月	9月
クロユリ				
コバイケイソウ				
ハクサンゴザクラ				
ハクサンシャクナゲ				
ハクサンフウロ				
ハクサンイチゲ				
ハクサントリカブト				
ハクサンチドリ				



ハクサンゴザクラ

ゴゼンタチバナ

クロユリ

また、ブナを主体とし、ミズナラ、トチノキ、カエデ類などからなる広大な広葉樹林が形成されており、ツキノワグマ、ニホンカモシカなどの大型哺乳類や、イヌワシ、クマタカなどの希少な大型猛禽類が、全国的にみても高い密度で生息しています。高山帯の代表的な鳥類であるイワヒバリは、山頂付近の岩場を中心に生息しており、美しいさえずりを聞くことができます。また、高山帯の哺乳類では、ホンドオコジョが高山帯を中心にブナ林まで広く生息しています。これらイワヒバリ、ホンドオコジョの他、アズミトガリネズミなどは白山が分布の西限となっている高山性の動物です。



縦谷に縦谷のミズバショウ群生地

ブナ林



イワヒバリ

ニホンカモシカ

取り組み



外来植物対策

白山を訪れる登山者や工事関係者などによって持ち込まれたとされるオオバコなどの外来植物が増加し、在来植物の生育への影響が懸念されています。そのため、多数のボランティアの協力を得て、除去作業を実施しています。

マイカー規制

登山ピーク時の交通混雑の緩和、安全確保及び自然保護のため、市ノ瀬～別当出合間(約6km)は、7月中旬から10月中旬の週末にマイカー規制が実施されており、代替交通手段としてシャトルバス(有料)が運行されています。

白山ユネスコエコパーク(生物圏保存地域)

白山は豊かな生態系や生物多様性を保全し、持続可能な発展を目指す地域のモデルとして、1980年にユネスコエコパークに登録されました。

恐竜渓谷ふくいつ勝山ジオパーク

エリアは勝山市全域です。「恐竜はどこにいたのか?大地が動き、大陸から勝山へ」をテーマに、恐竜時代から現代に至るまでに起こった地球活動の遺産と人々のくらしとの関わりに触れることができます。

白山手取川ジオパーク

エリアは白山市全域です。「山―川―海そして雪、いのちを育む水の旅」のテーマのもと、水の循環と何気ない風景に隠された大地の物語を体感できます。

国立公園の利用上のマナー

多くの方々に楽しく利用していただくために、国立公園内では自然を大切にすることを心がけ、次のことを守ってください。

- ゴミを捨てないでください
- 花や植物を採らないでください
- 野生動物に餌を与えないでください
- 動物を獲らないでください
- 歩行中禁煙
- たき火は指定の場所で行いましょう
- 動植物を持ち込むのはやめましょう
- 指定箇所以外のキャンプは禁止です
- クマに注意してください

登山届を提出しましょう

- ・キャンプ場のルールを守りましょう
- ・無理な登山計画はおやめください
- ・夜間登山は危険ですからおやめください



昭和9年の手取川流域に大きな被害をもたらした水害の際に、手取川支流の宮谷から流されてきた巨大な岩です。重さが百万貫はあるだろうと言い伝えられたことから名付けられました。

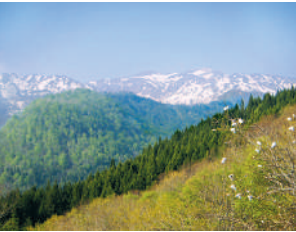


赤兎山山頂からの白山

山頂からは、白山をはじめ荒島岳、大長山などが間近に眺められます。赤兎平は池塘のある湿性草原で、夏にはニコウキスゲやササユリなどの花も楽しめます。



パノラマ展望台からの白山



白山展望台からの白山

市ノ瀬園地から自然観察路を約20分登ったところにある四阿の展望台からは、手軽に白山の主峰群が眺められます。さらに40分登るとパノラマ展望台があり、白山の大パノラマを一望できます。



紅葉のプナ林

市ノ瀬園地から別山市ノ瀬道を約2時間ほど登ると、白山でも有数のプナの原生林のあるチブリ尾根に到達します。新緑や紅葉の季節には、自然観察会も行われています。



越前禅定道の遺構・剃刀窟

かつて三馬場から白山へ向かう加賀禅定道、越前禅定道、美濃禅定道の三禅定道が開かれました。各禅定道は、現在でも登山道の一部として利用されています。



五色池より大波峰(おおなんじみね)

室堂から、白山最高峰御前峰を通り、山頂部に点在する大小7つの火口湖を巡る周遊コースです。夏季には室堂センターに常駐する自然解説員による自然観察会が行われています。



加賀禅定道の尾根から眺めることのできる落差約90mの名瀑です。雄大な清浄ヶ原の斜面から流れ落ちる様子は、白山有数のダイナミックな景観といえます。



岐阜県郡上市石徹白の美濃禅定道(石徹白道)登山口から少し登ったところにある全国で5番目に大きな杉の木です。幹回りが13.45mあり、大人が12人かかってやっと囲めることから「十二抱えの大杉」とも呼ばれます。



神々の里として知られる岐阜県郡上市白鳥町石徹白にある古社で、かつては白山信仰を日本中に広めた御師達の要の社でした。樹齢1,300年を超える杉の巨木が参道に立ち並び、凛とした空気が漂います。



季節によって様々に色が変わる人造湖です。エメラルドグリーンの湖面に大白川のプナ原生林が映える姿は神秘的で、別山や白山主峰群の美しい眺めも楽しめます。



白山には様々な魅力ある登山コースが整備されています。山上エリア

- お池めぐりコース(室堂ー御前峰ー翠ヶ池)
- エコーライン
- トンビ岩コース
- 展望歩道

石川エリア

- 市ノ瀬園地ー岩屋俣谷園地ーパノラマ展望台
- 蛇谷自然観察路
- 別当出合登山口ー砂防新道・観光新道ー室堂
- 北部登山道(加賀禅定道、楽々新道、岩間道、中宮道)

岐阜エリア

- 平瀬道(平瀬登山口ー大倉山ー室堂)
- 美濃禅定道(石徹白登山口ー銚子ヶ峰ー三ノ峰)

福井エリア

- 上小池刈込池自然研究路・三ノ峰登山コース(上小池駐車場ー六本槍ー剣ヶ岩ー三ノ峰)
- 赤兎山・大長山登山コース(小原登山口ー小原峠ー大長山・赤兎山)

富山エリア

- 大笠山登山コース(桂湖ー天ノ又ー大笠山)
- 奈良岳登山コース(プナオ峠ー赤摩木古山ー奈良岳)



市ノ瀬ビジターセンター
〒920-2501
石川県白山市白峰ノ35-1(市ノ瀬)
[TEL] 076-259-2504 (冬期閉館)



中宮温泉ビジターセンター
中宮展示館
〒920-2324
石川県白山市中宮オ9
[TEL] 076-256-7111 (冬期閉館)



白山室堂
(白山室堂ビジターセンター)
[予約専用電話]
076-273-1001 (シーズン中)
標高2,450mの室堂平にある山頂に最も近い宿泊施設です。



南竜山荘・南竜ヶ馬場野営場
(南竜ヶ馬場ビジターセンター)
[予約専用電話]
076-259-2022 (シーズン中)
白山御前峰と別山の鞍部にあたる標高約2,100mの南竜ヶ馬場にあります。

プナオ山観察舎

〒920-2333 石川県白山市尾添72-5
[TEL] 076-256-7250 (冬期のみ)

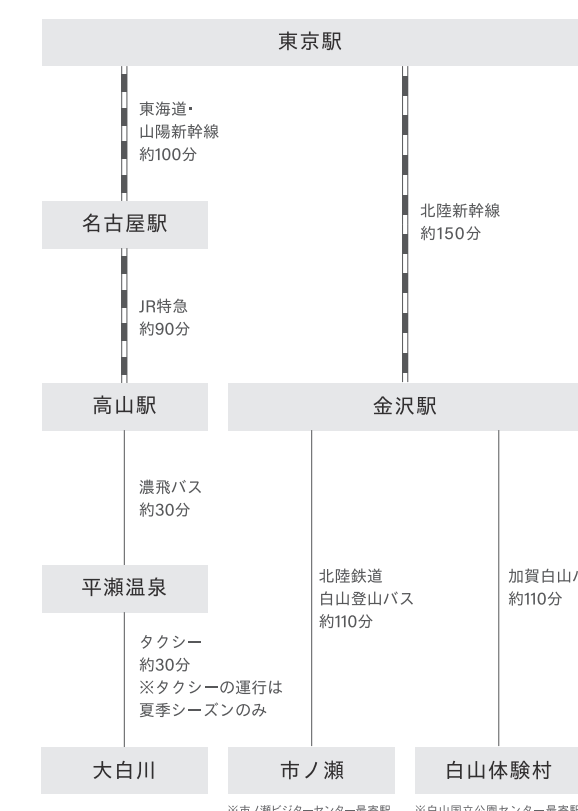
桂湖ビジターセンター

桂湖オートキャンプ場
〒939-1900 富山県南砺市桂
[TEL] 0763-67-3120 (冬期閉館)

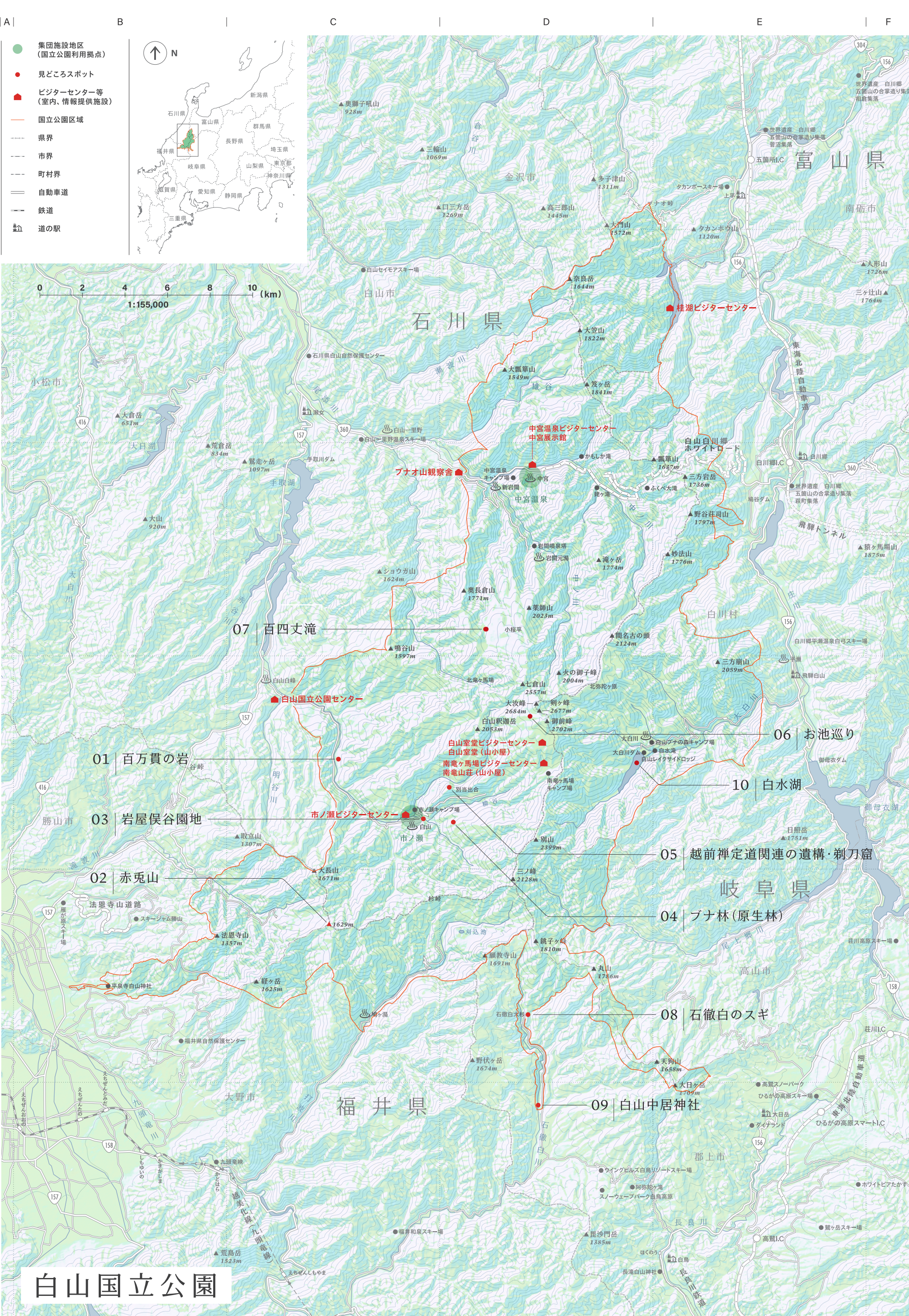
白山白川郷ホワイトロード(旧白山スーパー林道)

白山林道石川管理事務所
[TEL] 076-256-7341 (開通期間中)
白山林道岐阜管理事務所
[TEL] 05769-6-1664
岐阜県森林公社 高山出張所
[TEL] 0577-33-1111 (閉鎖期間中)

※開館時間などについて詳しくは各施設にお問い合わせください。



※アクセスルートは一例です。各区間の所要時間は目安です。詳しくは各交通機関の窓口・ホームページなどでご確認ください。



※詳細な区域確認等に当たっては、担当の環境省自然保護官事務所等に問い合わせてください。